

# 上級ミクロ経済学 シラバス (詳細版)

財務省 財政経済理論研修

2022 年度

## 基本情報

- 教員: 石原章史 (いしはらあきふみ)
  - 東京大学 社会科学研究所
  - Email: [akishihara@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:akishihara@iss.u-tokyo.ac.jp)
  - website: [akishihara.github.io](https://github.com/akishihara)
- 開講時間/場所:
  - 4月6日(水) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 4月8日(金) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 4月11日(月) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 4月15日(金) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 4月18日(月) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 4月22日(金) 13:40-15:10; 15:20-16:50
  - 4月25日(月) 9:30-11:00; 11:10-12:40
  - 場所: オンライン (Teams)

## 講義概要・講義目的

経済学部の上級ないし大学院初級レベルのミクロ経済学の主要トピックを概観する。学部から大学院（博士、Ph.D）への橋渡しを目的としており、将来 Ph.D 留学を検討している人に適したレベルを狙いとする。具体的な講義内容としては、前半で市場理論、後半でゲーム理論についてカバーする予定。

ミクロ経済学は効率的な配分や意思決定を分析する上で根幹となるツールであり、マクロ経済・財政・金融・産業・貿易など様々な経済問題を分析する場合にも、ミクロ経済学が土台として使われており、現代の経済学において欠かすことの出来ない分析ツールとなっている。

## 講義計画・講義内容

以下の通り(全14回。演習の時期は目安。進展状況によっては変更の可能性あり)。

1. 最適化問題
2. 消費者理論(1)
3. 消費者理論(2)
4. 演習(1)
5. 一般均衡理論
6. 不確実性とリスク態度
7. 演習(2)
8. 標準形ゲーム
9. 不完全競争
10. 外部性と公共財
11. 演習(3)
12. 動学ゲーム
13. 情報の経済学
14. (時間が許せば) 演習(4)

なお、時間の制約上、通常のミクロ経済学の講義で扱う内容のうち、一部は省略されている。

**演習については以下のように進めるので準備をしておくこと。**

1. 事前に扱う問題を指定するので、期日までに取り組む。
2. 演習の時間にこちらから誰か指定するので指定されたものはオンライン上で解説する。解説のために各自準備しておくこと。
  - タブレット端末+スタイラスペンなど(ホワイトボード代わりにしてその場で解説)
  - ワープロ、プレゼン用ファイル、手書きしたものの写真ファイルなど(事前には解説用の書類を準備)

## 履修要件

学部レベルのミクロ経済学および基本的な数学の知識(微積分・線形代数・確率)は前提であることが望ましい。特に数学の知識は前提として講義を進めるため、不安な場合は学部レベルの教科書で教科書でしっかり復習しておくことを推奨する。

## 成績評価の方法・基準

期末試験。

## 教科書・参考書

講義ノートを配布するが、主に以下の教科書に基づく。

- Jehle and Reny (2011), *Advanced Microeconomic Theory*, 3rd edition.
- Varian (1992), *Microeconomic Analysis*, 3rd edition.
- Tadelis (2012), *Game Theory: An Introduction*.

Jehle and Reny および Varian はバランスの取れたミクロ経済学の教科書である。購入は任意とするが、1冊手元にあると有用である。Tadelis は主に後半部で扱うゲーム理論と情報の経済学の教科書になっている。

参考書は以下の通り。

- 学部中上級レベルのミクロ経済学の参考書
  - 神取道宏 (2014) 『ミクロ経済学の力』
  - 林貴志 (2013) 『ミクロ経済学 増補版』
  - Snyder and Nicholson (2011), *Microeconomic Theory: Basic Principles and Extensions*.
- 大学院博士レベルのミクロ経済学
  - Kreps (1990), *A Course in Microeconomic Theory*.
  - Mas-Colell, Whinston and Green (1995), *Microeconomic Theory*.
  - Kreps (2012), *Microeconomic Foundations I: Choice and Competitive Markets*.
- 経済数学 (難易度の低い順)
  - 尾山大輔・安田洋祐編 (2013) 『経済学で出る数学』
  - Simon and Blume (1994), *Mathematics for Economists*.
  - Sundaram (1996), *A First Course in Optimization Theory*.
  - 岡田章 (2001) 『経済学・経営学のための数学』

## その他

- 演習題をこまめにこなすこと。
- 質問があれば e-mail またはオンライン通話ツールで。
  - － 通話ツールの場合は、e-mail にて事前に時間と使うツールを指定すること。
- オンラインゆえ授業の進め方について変更することもある。改善点があれば積極的に提案することを奨めます。

最終更新: 2022 年 3 月 31 日